



Q 農業振興策への展開は

A 経営基盤の安定を図る

熊谷 初男 議員（しののめ会）



ビジョン策定のため開催された座談会

Q1 集落水田農業ビジョンの実態と今後の振興策は。

A1 国の「米政策大綱」を受け、20年度を目標としたビジョンが、村内全域の20地区で策定されています。内容を見ると、ほとんどが良食味米の安定生産を基本とした、売れる米づくりの取組みです。

転作は小麦、大豆のブロックローテーションや輪作による団地化の継続です。さらに産直のための野菜作りに取組みます。その他は、現状を維持し集落営農の実践をしていくなどであり、地域の特色があるものと思っています。

村としては、農協や農業改良普及センター等で構成する実践支援チームの一員とし、各集落へ積極的に出向き支援していきます。

Q2 本村の特産物、特産品は何か。今後、開発を積極的に取組む考えはないか。

A2 昭和61年にスイカを特産品と指定した。その後、特に指定した物はないが、16年の園芸特産品販売額を見ると、約2億6000万円です。販売額の高い品目は、大根、きゅうり、ミニトマト等。花きはりんご、ぶどう、ストック等の品目で今後も推進を図ります。

また、野菜については「寒しめホウレンソウ」アスパラガス等を取入れ、冬場も出荷できる周年栽培を奨励します。

Q3 米の安全、安心が要求され、特別栽培米への取組みが重要では。

A3 減化学肥料、減農薬米の需要が高くなってきており、販売の主流になっていくことから積極的に推進します。

Q4 地産地消の取組みは。

A4 村内の直売所は、有人無人併せて数十カ所設置されています。販売体制の支援、また各種イベントでのPRの積極化、さらに給食センターと協議し地産食材の利用に引き続き取組みます。